上級者のための研修観戦記

令和元年 12 月 12 日

「つないで我慢しても腹が立たない」
「きかされて、形が崩れた」
「抑える方向違ってる」
「方針が一貫していない」
「あからさまに、狙っている手は打たない」

対局を大盤にて解説するときの絶妙な指摘です。毎週木曜日の午後、東浅川保健福祉センターで上級者が集まって棋力向上の研修をしています。解説者は言わずと知れた吉澤實相談役。八碁連の屋台骨を鍛える厳しくも和やかな研修です。

もともとこの会は、平成 28 年 10 月に六、七段の会員を対象に吉澤八段が立ち上げた研修会です。今は四段以上の会員が参加できます。幹事の南正一郎氏によりますと、まだ４~５名の空きがあるそうです。参加しませんか。

私、成田もこの会に誘われ入会しようとしました。すかさず竹内朝晴氏から声が飛んできました。

「八碁連会長をやっているときは、棋力の向上は諦めてください」

観戦記　　成田　滋